

認証評価機関が行う自己点検・評価に対するコメントについて

令和7年度に自己点検・評価を行った認証評価機関3機関の報告書を確認し、優れている点、更なる充実又は改善を期待する点と認められるものについてコメントする。

各認証評価機関においては、引き続き法令に適合した公正かつ適確な認証評価の実施に取り組むことはもとより、この度付されたコメントを踏まえ、認証評価の更なる充実等に一層努めることを期待する。

なお、今般実施した自己点検・評価に係る報告書については、遺漏なく公表すること。

令和7年12月

中央教育審議会大学分科会
認証評価機関の認証に関する審査委員会

【一般財団法人大学・短期大学基準協会】

＜優れている点＞

- ・ 米国西地区学校・大学基準協会（WASC）二年制高等教育機関認定委員会（ACCJC）の基準を参照し、国際的通用性を備えた評価基準を整備している点、また、内部質保証ルーブリックを用いて独自の基準を構築し、評価対象大学からも自大学の自己点検・評価の全体像を分かりやすく把握できると評価を受けている点は、本機関の特徴的な取組として評価できる。
- ・ 評価対象大学を含む全会員大学・短大向けの説明会及び当該年度の評価を担当する評価員に対する研修会について、毎年、対象者が評価への理解を深められるよう細やかに配慮して開催している点は優れている。また、説明会等終了後にはアンケート調査を実施し、その結果を評価委員会に報告し、次回の評価員研修会等に向けてマニュアル・実施方法等の改善に努めていることは評価できる。
- ・ 過去の自己点検で明らかになった課題を具体的に整理し、理事会等の承認を経て組織的に改善を実施している点、及びその改善状況を自己点検・評価報告書において明示的に示していることは評価できる。
- ・ 評価員の負担軽減のため、例えば財務に係る評価において一定程度機械的に判断できるようマトリクスで基準を作成する等の工夫を行っていることは評価できる。

＜更なる充実又は改善を期待する点＞

- ・ 短期大学の会員校減少は、今後も本機関の財政基盤の維持や評価員の確保において大きな課題となり得るため、短期的な対応策だけでなく、中央教育審議会で行われている新たな評価制度の議論も踏まえ、中長期的な見通しを持って対応策を検討していくことが期待される。